



災害発生を想定して模擬訓練 「旅の安全の日」に90社が実施

JATAが今年から「旅の安全の日」に制定した7月1日に合わせて、全国各地で会員企業90社が実際の災害発生を想定して模擬訓練を実施しました。

今回の模擬訓練では、安全管理者の責務や緊急連絡網の確認、ツアーの催行状況やツアー参加者の安否の確認

などが行われています。

また、一般消費者者に対しても、旅行業界による安全への取り組みをアピールすると同時に、旅行保険の加入促進やシートベルト着用・非常口確認などの実践も呼びかけました。

JATAの越智良典事務局長は、今回の模擬訓練について、「観光庁や外務省など関係省庁からの協力や認知を得る一方

で、一般消費者への啓蒙も実現できた」と指摘。「初めて模擬訓練を行った会社も含め100社近い会員企業の取り組みを通じ、『手間やコストが会社を守り価値を作る』ことへの認識も醸成された」と、その意義を強調しています。



緊急災害の発生を知らせる一報が入り、オフィスの雰囲気も一変、社員の間緊張が走ります(びゅうトラベルサービス)



JATA九州支部では7月1日、福岡空港で一般旅行者らにウェットティッシュを配布し、「旅の安全の日」をアピールしました



各部署は、本番さながらに現地の状況確認に追われました(びゅうトラベルサービス)



Travel

夏の旅行はもっと
安心&安全&楽しくなる!

[成吉思野鳥] BON MARCHÉ

3ヶ月の保険に
入ってねえか!

1 ウキウキ 海外旅行の前に

2 海外でも 国内の観光でも

JATAでは、全国紙に全面広告を掲載し、安全に裏打ちされた夏旅の楽しさについて啓蒙活動を実施しました



緊急対策本部で幹部らに指示を出す東日観光の米村道章社長(右)



東日観光の本社に設置された緊急対策本部では、幹部社員らが事態の確認と状況に即した対応について協議しました



JATA本部事務局に設置された緊急対策本部では、会員企業各社から寄せられるツアー催行状況や旅行者の安否確認情報などの集約が行われました